

スーパー定期〔自動継続自由金利型定期預金(M型)〕規定(複利型)
(預入期間3年・4年・5年複利型)

青梅信用金庫

1. (預金契約の成立)

当金庫は、お客さまからこの規定の取引に係る、当金庫所定の申込書の提出を受け、これを承諾したときは、当該取引に係る契約が成立したものとします。

2. (自動継続)

- (1) この預金は、通帳または証書記載の満期日に前回と同一の期間の自由金利型定期預金(M型)に自動的に継続します。継続された預金についても同様とします。
- (2) この預金の継続後の利率は、継続日における当金庫の店頭に掲示する利率とします。ただし、この預金の継続後の利率について別の定めをしたときは、その定めによるものとします。
- (3) 継続を停止するときは、満期日(継続をしたときはその満期日)までにその旨を申出てください。この申出があったときは、この預金は満期日以後に支払います。

3. (利 息)

- (1) この預金の利息は、預入日(継続をしたときはその継続日、以下本条本項および第2項において同じです。)から満期日の前日までの日数(以下「約定日数」という。)および通帳または証書記載の利率(継続後の預金については第2条第2項の利率。以下これらを「約定利率」という。)によって6か月複利の方法により計算し、あらかじめ指定された方法により、満期日に指定口座へ入金するか、または満期日に元金に組入れて継続します。
- (2) 継続を停止した場合のこの預金の利息は、満期日以後にこの預金とともに支払います。なお、満期日以後の利息は、満期日から解約日または書替継続日の前日までの日数および解約日または書替継続日における普通預金の利率によって計算します。
- (3) 債権保全の必要があるとき、その他当金庫が満期日前の解約を拒絶すべき事由があると認めるときは、この預金は満期日前に解約できません。
- (4) 当金庫がお客さまからの解約請求に応じる場合、当金庫が債権回収のためにこの預金を解約する場合、反社会的勢力の排除に係る条項により解約する場合など、この預金を満期日前に解約する場合には、その利息は、預入日(継続をしたときは最後の継続日。以下同じです。)から解約日の前日までの日数および次の預入期間に応じた利率(小数点第4位以下は切捨てます。)によって6か月複利の方法により計算し、この預金とともに支払います。

① 預入日の3年後の応当日を満期日としたこの預金の場合

A. 6か月未満	解約日における普通預金の利率
B. 6か月以上1年未満	約定利率×10%
C. 1年以上1年6か月未満	約定利率×20%
D. 1年6か月以上2年未満	約定利率×20%
E. 2年以上2年6か月未満	約定利率×40%
F. 2年6か月以上3年未満	約定利率×60%

②預入日の4年後の応当日を満期日としたこの預金の場合

A. 6か月未満	解約日における普通預金の利率
B. 6か月以上1年未満	約定利率×10%
C. 1年以上1年6か月未満	約定利率×10%
D. 1年6か月以上2年未満	約定利率×20%
E. 2年以上2年6か月未満	約定利率×20%
F. 2年6か月以上3年未満	約定利率×40%
G. 3年以上4年未満	約定利率×60%

③預入日の5年後の応当日を満期日としたこの預金の場合

A. 6か月未満	解約日における普通預金の利率
B. 6か月以上1年未満	約定利率×10%
C. 1年以上1年6か月未満	約定利率×10%
D. 1年6か月以上2年未満	約定利率×10%
E. 2年以上2年6か月未満	約定利率×20%
F. 2年6か月以上3年未満	約定利率×20%
G. 3年以上4年未満	約定利率×40%
H. 4年以上5年未満	約定利率×60%

(5)この預金の付利単位は1円とし、1年を365日として日割で計算します。

4. (規定の適用)

この規定に定めのない事項については、「定期預金共通規定」により取り扱います。

5. (規定の変更)

- (1)この規定の各条項は、金融情勢その他の状況の変化その他相当の事由があると認められる場合には、民法第548条の4の規定に基づき変更するものとします。
- (2)前項によるこの規定の変更は、変更を行う旨および変更後の規定の内容ならびにその効力発生時期を、店頭表示、インターネットまたはその他相当の方法で公表することにより、周知します。
- (3)前二項による変更は、公表の際に定める1か月以上の相当な期間を経過した日から適用するものとします。

(2020年 9月 1日現在)

以上